News Release



2022年4月26日

長野県発!ワインを広げるお手伝い ワイン分注機「Vinoark」を展示会にてご紹介します!

エムケー精工株式会社(本社:長野県千曲市、代表取締役:丸山将一)は、ワインをワインボトルや一升瓶から 分注できる小型のワイン分注機「Vinoark(ヴィノアーク)」を、6月22日より開催の「国際 食品商談Week」にてご紹介します。



ワイナリーやインポーターは、お客さまにワインを選んでいただく際に試飲を実施することが多くあります。コロナ禍において対面での試飲をすることが難しくなり、ワインを小分けにして配送する試みもされています。しかし、小分けにする際に、こぼれてしまったり、空気が入ってしまいワインが酸化してしまったり、健全な味わいのワインをお届けすることに難しさを感じているとの声をいただきました。

6月22日より東京ビッグサイトにて開催される「国際 食品商談Week」でご紹介するワイン分注機「Vinoark」は、誰でも簡単に、ワインが空気に触れない状態で小分けにできる製品です。コンパクトなので様々な場所で使いやすい仕様となっています。

【製品特長】

1. ワインを空気に触れさせることなく、決められた量に簡単小分け

分注先の小分け容器にアルゴンガスまたは窒素ガスを注入してからワインを充填します。同時に分注元のボトルにもガスを注入するため、分注先の小分け容器・分注元のボトル、どちらのワインも空気に触れません。分注量は20g~999gの間を1g単位で設定可能。毎秒10gで充填でき、操作もシンプルです。

2. 小型ガスボンベを本体に収納でき、コンパクトで使いやすい設計

コンパクトなサイズなので、机の上で使用することも可能。大型のアルゴンガスまたは窒素ガスのボンベと繋ぐこともできますが、小型のボンベなら本体に収納できるので様々な場所で使用できます。

3. 口径の小さいパウチ容器にも小分け可能

高さ100mm~220mmの瓶やパウチ容器に充填できます。軽量で配送がしやすいパウチ容器は口径が小さく分注が難しいのですが、「Vinoark」では簡単に分注することが可能です。

以上

【本件に関するお問合わせ】 エムケー精工株式会社

ライフ&サポート事業本部 電話番号:026-272-4112

メールでのお問い合わせはこちらのお問い合わせフォームからご連絡ください。

【参考資料】

■展示会出展情報

2022 年 6 月 22 日~24 日の 3 日間、東京ビッグサイトで行われる「国際 食品商談Week ワイン・酒EXPO」(主 催:RX Japan株式会社)にて、「Vinoark」を出展いたします。先行導入からのフィードバックを経て、より使いやすく なった「Vinoark」をご紹介しておりますので、ぜひブースにお立ち寄りください。

国際 食品商談Week URL : https://www.jfex.jp/ja-jp/about/wine.html (小間番号: 7-15)

原産国

■製品情報			
商品名	ワイン分注機「Vinoark」		
品番	WD-11FK0		
色相	ブラック		
製品サイズ	幅 340×奥行 310×高さ 650mm		
質量	18.5kg(ガスボンベを含まない)		
電源/消費電力	100V/20W		
希望小売価格	オープン価格		
対応サイズ	分注元(ボトル)	分	 注先
	最小サイズ 高さ250mm	最小サイズ	高さ 100mm
	最大サイズ 高さ 400mm(一升瓶)	最大サイズ	高さ 220mm
	ボトルの幅は 100mm まで対応可能		
分注量	20g~999g		
	1g単位で設定可能 毎秒 10g		
充填速度	(充填前に容器にガスを吹き込み、充填後に再度ガスを吹き込みます。		
	上記にはガスを充填する時間は含まれません。)		
使用ガス	アルゴンガス/窒素ガス		
本 持 できる 流 人	(どちらも食品に使用されて問題のないものです) ワインだけでなく、日本酒やウイスキーなど		
充填できる液体	炭酸を含まない液体の分注が可能		
操作部	シンプルでわかりやすい操作部		
	PMK 注入間 スクート A TO		
デザイン	シンプルなブラックのデザインは、マットな塗装の板金で仕上		
	がっており、様々な雰囲気に馴染みます。サイズもコンパ		す。サイズもコンパクト
メンテナンス	で小型のガスボンベ(直径 80mm×高さ 430mm、ガス内容量 150L)であれば本体内に収納でき、机の上など様々な場面で 使用することができます。		
	解できます。簡単	に取り外し・洗浄がで	きるため衛生的です。

また、分注時はノズルを触ることなく作業ができます。

日本(長野県千曲市)

■ワインの専門家が監修!



小原陽子氏
Vinicuest 代表
WSET Diploma
マスター・オブ・ワイン研修生

世界最高峰の資格であるマスター・オブ・ワインの数少ない 日本人研修生として日本のワイン界を牽引する小原陽子氏監 修の下、「Vinoark」は開発されました。

コロナ禍によるワイン業界の悩みや苦労に心を痛めた小原氏より、「変わりゆくワイン業界においてポストコロナの時代まで役立つ製品を」として分注機をご提案いただいたことから、「Vinoark」の開発は始まりました。小原氏には、ワインに関する知識を余すことなく提供いただき、製品のコンセプトや機能のほか、小分けにされたワインのテイスティングを含む品質チェックまでを監修していただきました。「Vinoark」は小原氏が認めた品質を体現しており、安心して分注を行うことができる製品です。

■導入先イメージ/導入例

「Vinoark」はワイナリーの試飲、インポーターの試飲配布だけでなく、オンラインで実施するワインスクールやワインイベントなどにもお使いいただけます。先行導入されている2つの事例をご紹介します。

1. ナガノワインフェスin長野 2022

「ナガノワインフェス」は長野県のワインを知り、楽しむイベントで、2022 年 2 月にオンラインで実施されました。オンラインでのテイスティングの方法に悩まれていたところに「Vinoark」をご紹介。当社としても長野県のワインを広めたいという思いに共感し、協力させていただきました。

参加されたワイナリー了承のもと、「GI長野」に認定された 12 種類のワインをアルミパウチ容器に小分けにして参加者へ発送しました。



2. 株式会社飯田様

株式会社飯田様は、日本酒やワインなどを取り扱い、飲食店や小売店に提供されています。コロナ禍で取引先への試飲をおすすめすることが難しくなっていました。状況を改善すべくクリーンルームを設置され、「Vinoark」初号機を含む3台を2021年9月に導入いただきました。「Vinoark」を活用しながら、小分け試飲用サンプルを送る取組みをされています。

使用時の問題点をフィードバックいただくなど、よりよい製品作りにもご協力をいただいています。



■商品紹介ページURL

https://www.mkseiko.co.jp/news/20220426/333.html